

(款) 55教育費 (項) 25保健体育費 (目) 5保健体育総務費

◎保健体育一般の経費

保健体育運営事業

【 スポーツ課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

スポーツ・レクリエーション:市民が自らの健康状態に応じてスポーツやレクリエーションを楽しむことができるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 活動団体への指導・援助や、関係団体との協調を図るため。

効果 スポーツ・レクリエーション活動の支援を図る。

【事業の内容】

(1) 保健体育運営事務

- ・ 関係団体への指導・援助の充実や、団体の組織化や連携を強化した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,207	8,274	7,959		315

主な支出内訳

・ 保健体育運営事務

スポーツ振興審議会委員報酬 7人

144

体育指導委員報酬 63人

2,974

体育指導委員費用弁償

84

体育指導委員トレーニングウェア購入費

600

体育協会補助金

3,265

レクリエーション協会補助金

196

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 生涯-09 保健体育運営事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	198 保健体育運営事務					
主管課	スポーツ課	関連課					
分野名	スポーツ・レクリエーション						
目標 (目標値)	スポーツ活動の普及を図る。 市民のスポーツ実施率を60%にする。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
	加盟者数	13,655人	13,585人	14,538人			
運営資源 状 況	決算値	7,959千円	7,327千円	9,271千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	7,959千円	7,327千円	9,271千円			
	人員配置数	2.1人	2.1人	2.1人			
	人 件 費	18,305千円	18,521千円	19,582千円			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	26,264千円	25,848千円	28,853千円			
	市民1人当 りの経費	149円	147円	165円			
	対象者1人 当りの経費	1,923円	1,903円	1,985円			
19年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
体育協会・レクリエーシ ョン協会加盟者人数	○	目標値	14,000人	14,000人	14,000人	14,000人	14,000人
		実績値	13,585人	13,655人			
指 標	評価スコア	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
体育協会・レクリエーシ ョン協会補助金額	△	目標値	4,000,000円	4,000,000円	4,000,000円	4,000,000円	4,000,000円
		実績値	3,441,000円	3,460,873円			
指 標	評価スコア	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
体育指導委員会議開催 回数	◎	目標値	3回	3回	3回	3回	3回
		実績値	4回	3回			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1) 各協会の自立を図り、補助金の削減を目指しているが、自主財源の確保、組織の強化が課題である。 (2) 体育指導委員のさらなる質の向上が必要である。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1) 各協会の運営に支障をきたさない範囲での補助金削減を行った。 (2) 体育指導委員の研修を実施した。(2回)
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) なし
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 継続的に取り組んでいく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	各協会は、本市のスポーツ、レクリエーション活動の普及、振興に大きく貢献している。また、体育指導委員も地域のスポーツ振興に貢献している。今後とも、自立及び質の向上に向け支援が必要である。			
担当課長氏名:		スポーツ課長 小池 忠紀		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	スポーツが与える様々な効果を考え、市民のスポーツ活動の普及を図るため今後とも、各協会、体育指導委員への支援を図ることが必要である。			
担当部名	生涯学習部長	部長名	金川 剛文	